

- 注1 国際規制物資の使用等に関する規則第7条第7項の規定に基づき提出する全ての報告書につき、MBAごとに「0001」から欠番、重複のない一連の番号を記載すること。
- 2 別記様式第4の注3の例により記載すること。
 - 3 別記様式第3の注2の例により記載すること。
 - 4 原子炉名を記載すること。
 - 5 特定燃料体を原子炉内に挿入した日を含む月の始まりと終わりの年月日を記載すること。
 - 6 別記様式第4の注6の例により記載すること。
 - 7 別記様式第4の注7の例により記載すること。
 - 8 別記様式第4の注8の例により記載すること。
 - 9 別記様式第4の注9の例により記載すること。
 - 10 別記様式第4の注10の例により記載すること。
 - 11 別記様式第4の注11の例により記載すること。
 - 12 別記様式第4の注12の例により記載すること。
 - 13 既に報告したデータを削除する場合は「A」と記載すること。
 - 14 特定燃料体を原子炉に挿入した年月日を記載すること。
 - 15 原子炉内に挿入した特定燃料体に関し、計量管理規定で定めた方法により付したバッチの番号を記載すること。
 - 16 別記様式第4の注28の例により記載すること。
 - 17 別記様式第4の注29の例により記載すること。
- 備考1 この用紙は、日本産業規格A4のつづり込み式とすること。
- 2 この報告書は、原子炉ごとに別葉で作成すること。